

7月27日(日)発行

MUZA
KAWASAKI
SYMPHONY HALL

ほほ

日刊サマーミュージア

Hobo Nikkan Summer Muza

朝刊

ノット&東響を愛してやまない
聴衆による長い歓呼！

7/26 東京交響楽団オープニングコンサート

© 池上直哉

2025年のフェスタ・サマーミュージアは、恒例の東京交響楽団・オープニングコンサートで無事開幕を飾った。とはいえ、同団の音楽監督ジョナサン・ノットが演奏会のみならず、開幕ファンファーレを指揮するのもおそらくこれが最後かと思うと、つい感傷的になってしまう。ノットがみずからプレトークを引き受けたのも、この演奏会が特別な機会であることをわかっているからだろう。

今回、指揮者が選んだのは、もはや夏の季語というべきワーグナー。思い返せば、両者の共演もコロナ禍の数年は中断を余儀なくされた。《トリスタンとイゾルデ》全曲の演奏計画は水泡に帰したが、緊張感に満ちた清澄な《ローエ

ングリン》第1幕への前奏曲、そして血湧き肉躍る《言葉のない「指環」》は、両者がワーグナーに全力で取り組んだらどんなサウンドになったろうか、という聴き手の見果てぬ夢を十分に満足させてくれるものだった。《ワルキューレ》第2幕前奏曲(ジークムントとジークリンデの逃避行)あたりからオーケストラにエンジンがかかりはじめ、《神々のたそがれ》ジークフリートの葬送行進曲で高揚感は頂点へ。

間に挟まれたベートーヴェンの交響曲第8番でも、曲の(初演当時の)前衛的要素を立体的に聴かせようとするノットの意志は隅々まで貫かれ、第4楽章では主題を半音高い調に設定するその箇所が鋭く響きわたった。知情意がかねそなわったノットとオーケストラの名演、そしてその両者を愛してやまない聴衆による、カーテンコールでの長い歓呼におもわず胸温まる。やはり夏にはワーグナーがよく似合う。

(音楽学・音楽評論 広瀬 大介)



プレトークの様子

© 池上直哉

ご来場者の声

かすかな響きから、迫力ある大音響まで、大満足のプログラムで、今年もミュージアの夏がやってきた！ノット監督のラストイヤー前半のしめくりとしても、後半の幕開けとしても、素晴らしい演奏でした。いつも、本当に新しい喜びをありがとう。(50代・gomame) / ベートーヴェン交響曲第8番は新旧の演奏を愛聴していますが、ベスト3に入ります。ジョナサン・ノットはすごい！(60代・自営業・O to tofon) / ハープ4台！(50代・たつゆき) / ハード・スケジュール＋ハードな大作が続いても、ノット絶好調。監督のワーグナー愛がオーケストラとお客に伝わった。これを1人の人間の力だけで作ったという事実、それも本日はほんの一部。めくるめく音たち。(ミュージアサマサマ) / 「白鳥の騎士」が登場し、歴史的名演の8番を聴いた後は、めくるめく指環の世界、なんとぜいたくな時間。「指環」はノット＝TSOは完全に「ゾーン」に入っていたかのような圧倒的な爆演で、ワーグナーにとり込まれた60分でした。ありがとうございました！(60代・会社員・わぐねりあん84) / ファンファーレ、プレトークと今年も気分が盛り上がる。この前、ジョナサンとエレベーターで一緒だった。今日は元気そうだ。前半のプログラムから盛り上がる。後半は更に盛り上がった。今年もサマーミュージアのはじまりだ！！(60代・匿名)

フェスタ・サマーミュージア KAWASAKI 25 明後日の公演情報

洗足学園音楽大学 若き精鋭たちが舞うバレエ名曲選

7/29(火) 18:30開演

指揮：キンボー・イシイ ヴァイオリン：物集女純子
バレエ：洗足学園音楽大学バレエコース
(協力：谷桃子バレエ団、東京シティ・バレエ団、牧阿佐美バレエ団)
管弦楽：洗足学園ニューフィルハーモニック管弦楽団

- ボロディン：歌劇『イーゴリ公』から「だったん人の踊り」
- プロコフィエフ：ヴァイオリン協奏曲 第1番 ～星の王子さま～
- ラヴェル：マ・メール・ロワ

S席 2,000円
A席 1,500円

TEL・WEB予約 当日16:30まで
当日券カウンター 17:30より



© 増田雄介

浴衣 de
SUMMER MUZA!

浴衣でご来場の方に、
ささやかなプレゼント
進呈！
ホール内主催者受付ま
で申し出てください。



当日券あり



超絶のテクニック、抱腹絶倒のユーモア！

ミュージザのお薦め



MUZAスペシャル・ナイトコンサート ザ・ベース・ギャング・ナイト

11.6 (木) 19:00開演

8/22(金)～ 一般発売！

【出演】

アンドレア・ピーギ
アントニオ・シアンカレポーレ
アルベルト・ボチーニ
アメリゴ・ベルナルディ

【曲目】

中村八大：上を向いて歩こう
久石譲：人生のメリーゴーランド
モリコーネ：モリコーネ・メドレー
ベースの四季～ Le Basse Stagioni ～他

全席指定 ¥4,000 U25(小学生～25歳) ¥1,500

11月6日のスペシャル・ナイトコンサートは、コントラバスのカルテットという、恐らく多くの人が聴きなじみのないであろうアンサンブルが登場します。その名も「ザ・ベース・ギャング」。それぞれが由緒正しいクラシックをバックボーンに持つ、イタリアが世界に誇る、スーパー・ベース・カルテットです。彼らが奏でる音楽はただの弦楽アンサンブルとは一線を画しています。超絶技巧と天才的な編曲センスに加えて、歌心と豊かな音楽性、そしてユーモアまで兼ね備えたスーパープレイヤー達が繰り広げる、遊び心満載のステージは必聴です。大きな楽器を自由自在に操り、既成概念を軽々と越えていく陽気なギャング達の快進撃に乞うご期待！（事業課・SG）

**オリジナルグッズ
好評発売中**

A4 クリアファイル
税込 ¥330 (税別 ¥300)

【サマーミュージザ期間限定】ホール内ショップ・ホール2F ホワイエ他にてお取り扱い中

【数量限定】サマーミュージザ扇子
税込 ¥1,980 (税別 ¥1,800)



パートナーショップのご紹介

エンジョイ！
川崎！！

Enjoy Kawasaki



醤油らあ麺+チャーシューご飯セット
(麺大盛り、味玉トッピング)
1,480円(税込)

優しさと旨味が凝縮された至高の一杯

ラーメンを心から愛するK原が足を運んだお店は、川崎DICEにある「麺屋 空海」さん。仕事帰りで空腹の限界を超えていた私は、人気の醤油らあ麺とチャーシューご飯セット、さらには麺大盛りと味玉をトッピングして注文しました。待つこと5分ほどで着丼。美しい丼顔を写真に収め、まずはスープを一口。口全体に海鮮と鶏の旨味が広がり、加えて醤油のコクが感じられる極旨スープ！麺はツルモチ食感の中細麺で、スープは勿論のことトッピングや2種類のチャーシューとの相性も抜群。思わずガッツポーズをし、夢中でチャー

シューご飯と一緒に食べ進めると、5分ほどでスープの一滴すら残さず完食。優しさと旨味が凝縮された至高の一杯でした。

(GR課・ラーメン大好きK原さん)



完食しました♪

麺屋空海

K 川崎 DICE 6F

パートナーショップ特典

焼餃子 ¥100

※「優待チラシ」持参者
および同伴者
※営業時間内は終日可

フェスタサマーミュージザ公式サイト
<https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/>

#サマーミュージザ

で検索＆投稿

お待ちしております！



X: @summer_muza

Facebook: @kawasaki.sym.hall

Instagram: @muzakawasaki

YouTube: @kawasakisymhall

「優雅な朝」
ミュージザ3年目、早番である私の朝は早い。5時半に一度アラームがなり、しっかりとスヌーズを解除し二度寝をする。そして45分後再びアラームが部屋中になり響き、やっと起床するのだ。優雅な起床である。そこからはわたたと準備をし、若干速足でバス停に向かう。そして大混雑の電車を乗り越えひと段落し、川崎駅から直結のデッキを通る際にスピーカーから聴こえてくるクラシックに耳を傾ける。これまた優雅な出勤である。私が勤務している受付の日々の業務は、施設予約の電話対応、音楽工房の備品準備など様々で、たくさんのお客様と関わる事が出来る仕事だ。音楽が好きで、接客も好きな私にとって働きがいのある職場である。毎年、サマーミュージザ期間はポロシャツが制服の代わりで、今年はデザインも新しくなり、活気あふれる黄色に衣装チェンジとなった。本日も優雅な朝を過ごした私は、黄色い制服に身を包み、業務に励むこととする。
(受付・どちらかというと朝は苦手！)

スタッフ日誌